

ちば文化だより

# Millefeuilles ミルフィーユ Vol.3



## contents

### 特集 開館から55年の節目を迎えた 千葉県文化会館の「これまで」と「これから」

#### 特集2

インタビュー

観世清和(二十六世観世宗家)

インタビュー 2

運命の出会い..... 相葉裕樹 & 熊谷彩春

海の文化手帖..... 和田町の捕鯨文化

CHIBAプライド..... 神輿 行徳

ちばと芸能..... 声明・雅楽 成田山新勝寺

文化の入り口..... ようこそホールへ!

ちばゆかり人..... 阿久井 真

CHECK!  
ギフトプレゼント





# 開館から55年の節目を迎えた 千葉県文化会館の “これまで”と“これから”



県民の文化芸術活動の拠点として広く親しまれている千葉県文化会館（通称「ちばぶん」）が誕生したのは昭和42年（1967年）のこと。戦後に千葉県が経済的・社会的な発展を遂げる中、さらに文化の発展も

図るため、千葉市発祥の地とされる亥鼻公園一帯に複数の文化教養施設を有する「文化の森」が造成されました。その中心として建設されたのが千葉県文化会館です。

千葉県文化会館は、音響に優れた大ホールで国内外の有名アーティストが公演を行うとともに、開館翌年の昭和43年（1968年）から自主文化事業によって低料金で良質な公演を提供。また、県民が文化の担い手として参加できる場として千葉・県民芸術祭を毎年開催し、近年は世代や障がいの有無を超えて様々な人がステージに集う千葉・県民音楽祭も好評を博しました。平成8年（1996年）には身障者の方が快適に利用できるよう施設が大幅に改修され、ホワイエや客席の照明も明るく改善。文化芸術の殿堂として、活動発表の場として広く利用され、令和4年には開館55年の節目を迎えました。

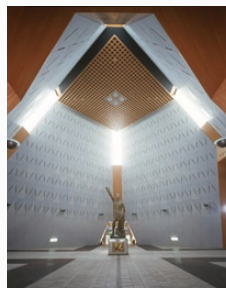
そして、千葉県文化会館がこれからも文化芸術活動の場を提供していくために、安全性の向上やバリアフリーの推進を目的に令和5年4月から令和7年6月下旬（予定）まで大規模改修工事を実施します。ちばぶんは休館となりますが、県内各地のホールで財団主催公演を開催しますので、どうぞお楽しみに。



## File.3 吹奏楽の聖地

「千葉県吹奏楽コンクール」の会場になっている千葉県文化会館。期間中は約450校、社会人の団体も含めると約500団体、約24,000人が参加しています。毎年夏休みの約3週間繰り広げられる熱演は、夏の風物詩となっています。

## File.1 優れた建築物として高評価



千葉県文化会館のデザインと設計を担当したのは、千葉県立美術館など文化芸術施設の建築をはじめ、都市開発でも多くの実績を残している建築家の大高正人氏。千葉県文化会館は第19回日本建築学会賞（昭和42年）と第9回BCS賞（昭和43年）を受賞し、公共建築100選（平成10年）にも選定されています。

◀中央ロビー。2013年に一般社団法人日本音響家協会の優良ホール100選に認定

実はスゴイ！



## File.4 千葉県が誇るジュニアオケの拠点



平成8年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県単位では初めて少年少女によるオーケストラとして結成された〈千葉県少年少女オーケストラ〉。これまで世界的な指揮者やソリストとの共演を数多く実現し、海外公演も行うなど国内外から演奏レベルの高さを認められています。

▲結成当時の会見風景

## File.2 昔は結婚式場があった

隣接している聖賢堂は、当初は結婚式場として建てられたもの。開館から昭和61年に結婚式場としての役割を終えるまで、19年間で7,670組のカップルを送り出しました。聖賢堂の中には、千葉常胤や伊能忠敬ら千葉を代表する8人の聖賢偉人の肖像画が飾られています。





海に囲まれた千葉県で育った文化・芸術を紹介します

## 和田町の捕鯨文化

江戸時代から守り続ける、港町の変わらぬ生活

日本には縄文時代から鯨を捕獲して食する文化が存在し、和田町(現・南房総市)でも17世紀ごろから小型船による沿岸捕鯨が行われてきました。現在、鯨を水揚げする捕鯨基地は



日本に4カ所しか存在しませんが、その1つが今も和田町にあり、7月から8月にかけて捕鯨が行われています。水揚げされる鯨の頭数は年間26頭で、そのほとんどがツチ鯨です。

捕獲された鯨は一晩寝かせた後に解体されますが、シーズンになると解体を見るために多くの人たちが訪れます。解体が終わると漁港の販売所で鯨肉が販売され、肉をタレに漬けて干した南房総の郷土料理「くじらのたれ」など様々な食べ方で楽しまれています。さらに、皮を溶かした鯨油は洗剤や機械油の原料に、内臓や骨は房州枇杷の肥料としても利用されています。鯨を捕獲し、解体し、大切にいただく——こうした鯨と共に営む暮らしは、和田町では昔も今も変わらず文化として根づいているのです。

▶千葉県南房総市「道の駅和田浦WA・O!(ワオ)」で人気のくじらコロッケ。他にも多彩なくじら料理はもちろん、アジやイサキなどの地魚料理も人気。



## ちば文化芸術 シンポジウム&ミュージカル・コンサート Find your Key ~ひらけわたし~

令和5年3月12日(日) 14:30開演

開館55周年を記念して、千葉県ゆかりのアーティストたちを招いてシンポジウムとミュージカル・コンサートを開催します。第一線で活躍する方々の声を聴ける貴重な公演に、ぜひご応募ください。ロビーでは見逃せない数々の企画展示もあります。

### 【第1部】ちば文化芸術シンポジウム

“鍵”をキーワードに、千葉ゆかりのアーティストたちが夢を目指すきっかけとなったことや、文化芸術との出会い、自己表現などについて話し合うトークセッション。  
パネリスト: 相葉裕樹(ミュージカル俳優、声優)、熊谷彩春(ミュージカル俳優)、鈴木おさむ(作家)、西方正輝(チェリスト、トランペッター)

司会: 大熊英司(元テレビ朝日アナウンサー)

### 【第2部】ミュージカル・コンサート

誰もが楽しめるミュージカルナンバーのコンサート。お二人への質問もホームページにて募集中!

出演: 相葉裕樹、熊谷彩春

### 漫画『青のオーケストラ』原画展示

幕張総合高等学校シンフォニックオーケストラ部がモデルになった阿久井真による漫画で、千葉県文化会館が作品中に登場しています。

### 千葉県文化会館55年間を振り返る展示

開館当初を振り返るパネル、改修後のイメージ、アーティストのサイン、過去に使用していた舞台機材、これまでの公演ポスターなどをロビーにて展示します。

**バックステージツアー** (事前申込制・定員20名程度)  
舞台スタッフの業務を体験できるツアーを実施します。(対象:大学生以下)

### 入場料無料・要事前申込み

申込み多数の場合は抽選。申込みはこちら⇒

申込み締切 令和5年2月24日(金)



千葉県が誇るモノやコトを紹介します

## 全国有数の生産地 行徳



行徳(市川市)は江戸時代に、幕府から奨励をうけて製塩業が発展、塩を運ぶための水路が整備され、成田山詣の要所としても大変賑わっていました。「行徳千軒、寺百軒」と言われるほど寺社仏閣も多く、腕利きの仏師や宮大工、彫刻師も集まるようになり、その技術を生かす形で行徳での神輿づくりが盛んになったのです。

### 伝統を受け継ぐ行徳唯一の神輿屋

明治から昭和にかけて製作された江戸神輿の数は全国で約4,000基とされ、およそ半数が行徳の神輿。後藤、浅子、中台の三家がその中心でしたが、現在行徳に残っている神輿屋は中台製作所のみ。木地から一環して生産、日本全国から修理なども請け負い、貴重な伝統技術を今も受け継いでいます。



◀中台製作所では『行徳神輿ミュージアム』(入場無料)を併設。普段は見られない神輿の内部や、製造工程、職人が使用する道具などを展示しています。



行徳散策の際には、行徳の歴史などに触れられる国登録有形文化財の「旧浅子神輿店店舗兼主屋」にもどうぞ。中台製作所から徒歩約7分。

### File.5 建物の外でも芸術を堪能

広場や隣接する公園では、戦後日本を代表する彫刻家・柳原義達からカラスをモチーフにしたブロンズ像《道標》や、ロダンの影響を強く受けた荻原守衛の最晩年の作品《女》など、数々の屋外彫刻が目を引きまします。千葉出身の歌人たちの句を刻んだ3つの石碑もあります。



荻原守衛《女》▲日本近代彫刻の最高傑作といわれている

### File.6 どこから入っても1階?

千葉県文化会館は建設地である亥鼻山の傾斜を生かして建てられました。そのため、坂の途中のロータリー入口やその少し上にある搬入口など、すべて外部からフラットに出入りできます。つまり、建物は1階から3階までありますが、すべての入口が1階に見える作りになっています。



二十六世観世宗家 — 観世 清和 かんぜ きよかず

先人たちの教えを胸に刻んで  
宗家親子ならでの舞台を披露したい

観世流二十六世宗家として現代の能楽界を牽引する観世清和師にインタビュー。今年2月に青葉の森公園芸術文化ホールで開催される『青葉能』への出演を前に、能の魅力や演目の注目ポイントを語っていたいただきました。

—能の一番の魅力は何でしょうか？

能は今から700年前に、私の先祖である初世観阿弥・二世世阿弥親子が大成させ、三世音阿弥以降、今日まで脈々と受け継がれてまいりました。能が絶えず受け継がれている大きな理由は、取り上げている題材が「人間を描く芸術、鎮魂の芸術」、いわゆるレクイエムであるからだと思います。人々が思い描く普遍的な感情である「戦争の悲しさ、平和への願い、親子の情愛、報われない恋の苦しみ」を、今回の公演でもお感じいただければ幸いです。



—能を楽しむための秘訣はありますか？  
能の楽しみ方は、人それぞれ。十人十色で自由な気持ちで楽しんでいただくことが一番です。能は「余白の芸術」と呼ばれるほど、無駄を一切省き、舞や謡に曲趣を凝縮しております。想像力をたくましくして、お客様一人ひとりが思い描く世界を作り上げてほしいと思います。

—能の公演へ行く前にしておくことと良いことがあれば教えてください。

古典文学が分からない状態でも、非日常の世界をお楽しみいただくことはできます。情報過多の昨今、世の中が目まぐるしく変化して心の余裕が失われつつありますが、ぜひとも能楽堂という非日常の空間で心身をリラックスしてください。ただ、事前に簡単でも結構ですので、演目の解説文などをご覧いただくと、より深くお楽しみいただけます。

—能舞台で演じるときに心がけていらっしゃることはありますか？

舞台へ立つ者への戒めとして、世阿弥が「離見の見」という言葉を遺しております。能は「型が命」であり、正確な型に初めて意味が宿ります。舞台上立つ者が我を忘れ「我見」の赴くまま演じては、型を正確かつ美しく舞うことはできません。舞台上に立っていても冷静に己の動きを見ることが大切です。舞台上に集中するも、冷静に離れて自分を見る力が、すなわち「離見の見」です。この先人の教えを心掛けております。

ちばと  
芸能成田山新勝寺  
声明・雅楽  
しょうみやう  
ががく千数百年年以上にわたり  
伝え受け継がれてきた  
心に響く祈りの声と伝統芸能

939年に天皇の勅命を受けた寛朝大僧正が、弘法大師・空海みずから開眼した不動明王の御尊像と共に平将門の乱が鎮まるよう成田の地で祈願したのをはじまりに、真言宗智山派の大本山として成田山新勝寺を開山しました。

開山の祖である寛朝大僧正は仏典の経文に節をつけて唱える「声明」の発展に尽力し、真言声明の祖と仰がれました。声明は、宗教儀式で使われる

声楽として仏教の伝来と共に伝わり、成田山新勝寺では行事の際などに唱えられています。僧侶たちによって伝承された声明は、平曲、謡曲、浄瑠璃、民謡など、後の日本音楽に影響を与え、文化遺産という側面も持ち合わせています。

もう一つ、仏教と深い関わりを持つ伝統芸能が「雅楽」。日本古来の音楽や舞と大陸から伝来した諸芸が融合して平安時代に成立した音楽芸術で、雅楽器だけで演奏する「管絃」、その音楽に舞を伴う「舞楽」、雅楽器を伴奏に歌う「歌謡」という3種類の演奏形態があります。寛朝大僧正が雅楽にも大変堪能だったことから、成田山新勝寺では仏教の法要に取り入れることで長年大切に受け継ぎ、現在も職員によって結成された成田山雅楽部が特別大祈禱会や年に一度の雅楽演奏会などで披露しています。

それぞれルーツは異なるものの、古代に誕生して以来、日本の古き良き歴史と文化を現代に感じさせてくれる伝統音楽を、一度じっくり堪能してはいかがでしょうか。



▲「成田山新勝寺 雅楽演奏会」毎年10月第3日曜日に開催。



▲寛朝大僧正  
不動明王のお告げにより、成田の地に留まり人びとを救うため、成田山新勝寺を開山しました。

## 公演情報

## 第42回青葉能

令和5年2月19日(日) 青葉の森公園芸術文化ホール

出演：観世清和(第二十六世観世宗家)、

観世三郎太、山本東次郎 他

番組：演目解説、仕舞 賀茂／敦盛／隅田川／女郎花、  
狂言 船渡智、能 松風 戯之舞

SS¥8,000 (U-30¥4,000) S¥6,000 (U-30¥3,000)

A¥4,000 (U-30¥2,000) 小中高生¥500 (全席指定)

「青葉能」公演当日を迎えるまでのお稽古にどのような臨んでいますか？

今回「松風」でツレを勤めます息子三郎太と共に毎日、稽古を積んでおります。ただし、特別に「これをやる」ということはございませぬ。私共に大切なことは不断の稽古です。常の通り稽古を積み、公演日を迎えたいと思います。

今回の演目である能「松風」の見どころ、聴きどころを教えてください。

松風の謡は能の演目の中でも随一の美しい詞章となっております。最初から最後までその美しいメロディに浸っていただけると嬉し

いです。想像力をたくましくして聴いていただきますと、眼下には須磨の海が見えてきたり、いろいろな世界が広がると思います。

中でも、シテ(松風)を勤める私とツレ(村雨)を勤める息子の三郎太が連吟(同時に謡うこと)を行う場面がございませぬ。不断の稽古を積み、宗家親子ならではの舞台をご披露できればと存じます。また、松風は夢幻能です。他の演目と違って、松風は「風」に、村雨は「雨」となり自然と一体化する、非常に美しい終わり方をいたします。演目が終わった後も、ぜひともその美しい余韻に浸っていただけると嬉しいですよ。今回身に着ける面や装束についても、伝統工芸の粹を

集結した逸品ですのでそちらにもご注目ください。

聞き手：高森智子(公益財団法人千葉県文化振興財団)

## ●プロフィール

父は25世宗家観世左近(元正)。平成2年、家元継承。室町時代の観阿弥、世阿弥の子孫観世流の26世宗家として、現代の能楽界を牽引。国内公演はもとより、フランス、インド、タイ、中国、アメリカ、ドイツ、ポーランドなどの海外公演、「箱崎」などの復曲、「利休」をはじめとする新作品にも意欲的に取り組み、2012年にはキリンシタン能「聖パウロの回心」を初演した。芸術選奨文部大臣新人賞、フランス文化芸術勲章シュバリエ、芸術選奨文部科学大臣賞、伝統文化ボーラ賞大賞、紫綬褒章、日本芸術院賞など多数の受賞、受章がある。重要無形文化財総合指定保持者。著書に「期初心」(淡交社)、新訳「風姿花伝」(PHP)、「観世宗家能暦」(淡交社)、「能はこんなに面白い！」(内田樹氏との共著/小学館など)。

# ミュージカルの楽しさを 多くの方に届けたい！



## 相葉裕樹

あいば ひろき (船橋市出身) 1987年生まれ。俳優デビュー翌年の2005年に『テニスの王子様』で初めて舞台に立ち、2009年に『侍戦隊シンケンジャー』で一躍注目される。2017年にミュージカル『レ・ミゼラブル』に出演し、以降も舞台や海外ドラマの吹替えなど幅広く活躍中。

——相葉さんは船橋市、熊谷さんは佐倉市出身ですがどのような環境で育ちましたか？  
相葉…家の近くに梨園や森があり、昆虫を採って遊んだりしていました。幼い頃はヒーローが大好きで、『侍戦隊シンケンジャー』への出演が決まった時は夢が叶って嬉しかったですね。  
熊谷…自然が多いおらかな環境で、登下校中に毎日歌って踊ったり、のびのびと育つことができました。自宅の近くの田んぼで発声練習代わりに歌っていると、畑にいるおばあちゃんや人が褒めてくれるんです(笑)。

——ミュージカルの魅力を知り、舞台に立つようになったきっかけは？  
相葉…学生の頃はクラスの中心に立つタイプではなく、みんなの注目を集める存在への漠然とした憧れから芸能界を目指しました。ただデビューして間もない、舞台の常識を一切知らない状態で舞台『テニスの王子様』への出演が決まり、同世代の共演者たちと部活のように熱くのめり込み、多くのことを学びました。  
熊谷…2歳から父の転勤でロンドンに住んでいた頃、初めて観劇したミュージカルにすっかり虜になって、毎日自宅のソファを舞台にミュージカルごっこをするようになりました。それでも歌や踊りは好きでしたが、「私がやりたいのはこれだ！」と目標が定まり、その後、夢が変わることは一度もありませんでした。



## 熊谷彩春

くまがい いろは (佐倉市出身) 2000年生まれ。幼い頃からミュージカル女優を目指し、小学5年生から子役として舞台に立つようになる。高校2年生(2017年)で東宝芸能に所属するとともにミュージカル『レ・ミゼラブル』のオーディションを受け、史上最年少でコゼット役に抜擢される。

——これまでのキャリアで転機となった出来事がありますか？  
相葉…2015年にミュージカル『ラ・カージュ・オ・フオール 籠の中の道化たち』で鹿賀丈史さんと市村正親さんと共演させていただき、ミュージカル界の第一線を走るお二人のようになりたいと思い、「帝国劇場の舞台に立つ」という目標を掲げました。2年後に『レ・ミゼラブル』でその夢を叶え、それから周りにミュージカル俳優として認められたような気がします。

熊谷…進路に悩んでいた高校2年生の夏にパークリー音楽大学の夏期講習へ参加し、同世代の仲間たちが夢を追っている姿に刺激を受け、帰国後すぐに東宝芸能のオーディションに応募しました。その直後に『レ・ミゼラブル』のオーディションにも合格し、幼い頃に憧れた世界に立てて毎日が幸せでした。

——舞台に立つ時に心掛けていることは？  
相葉…実は今でも歌うことが苦手なんです。これは演技についても言えることですが、とにかく

かく準備を怠らないようにしています。

熊谷…生のエネルギーという舞台ならではの魅力を伝えたいと思っています。また、ミュージカルに馴染みのない方が違和感を覚えないうように、語るように歌うことを心がけています。

——千葉県文化会館開館55周年記念フォーラムへの意気込みをお聞かせください。  
相葉…千葉にまつわる公演に呼んでいただけるようになったかと思うと光栄です。千葉出身仲間や『レ・ミゼラブル』仲間の熊谷さんと、ミュージカルのことをあまり知らない方も楽しめるようなステージを作りたいと思います。

熊谷…地元千葉で舞台に立つことは目標の一つで、舞台を「見る側」だった私が「立つ側」へと変わることがとても嬉しいです。当日は相葉さんと二人で曲の世界に連れて行けるよう、歌はもちろんお芝居の面でもお客様を引き込みたいと思います。

聞き手：橋本志世(公益財団法人千葉県文化振興財団) 写真：上平庸文

お二人の歌声が  
聴けます！

千葉県文化会館開館55周年記念『ちば文化芸術シンポジウム&ミュージカル・コンサート』

令和5年3月12日(日) 14時30分開演 千葉県文化会館 入場料無料(往復ハガキが専用フォームによる事前応募申込) 申込みはこちら



## 千葉県南総文化ホール

## 夏井いつき 句会ライブ

令和5年2月19日(日) 14:00開演

「プレバト!!」などテレビでおなじみの俳人・夏井先生が句会ライブを開催します。句会ライブとは、たくさんの人たちと一緒に楽しむための新しい句会の形。夏井先生の軽快なトークを交え、初心者でも楽しめる内容となっています。当日は、夏井先生が作句方法をレクチャーし、みんなで俳句づくりにチャレンジ。全員の句を夏井先生が評価し、参加者との議論を経てグランプリを決定します。もしかしたら、あなたの俳句が選ばれるかも！この機会に俳句の魅力に触れてみませんか？



- 出演 夏井いつき
- 料金 一般¥3,000 U-30(30歳以下)¥1,500 小中高生¥500 (全席指定)

## 青葉の森公園芸術文化ホール

## 邦楽四重奏団 in 青葉

令和5年2月12日(日) 14:00開演

「日本の伝統楽器で“今”と“これから”の音楽を創る」をコンセプトに活動する、新進気鋭の若手実力派「邦楽四重奏団」のコンサートを能舞台上で開催します。0歳から入場OK！楽しいお話を交えながら、能舞台ならではの厳かな雰囲気にとりなプログラムで、邦楽の魅力を存分に体感していただけます。同月23日(木・祝)には千葉県東総文化会館でも開催。



- 演目 宮城道雄：初鶯 廣瀬量平：まきむく 二面の箏、十七絃と尺八のための四重奏曲 旭井翔一：邦楽四重奏曲 ほか
- 出演 邦楽四重奏団(箏・三絃・十七絃：平田紀子、寺井結子、中島裕康 / 尺八：黒田鈴尊)
- 料金 一般¥2,000 U-30(30歳以下)¥1,000 高校生以下¥500(全席指定) 3歳以下ひざ上無料(お席が必要な場合は有料)

## 千葉県文化会館

## レ・ヴァン・フランセ コンサート

令和5年3月5日(日) 14:00開演

クラリネット奏者のポール・メイエが中心となり、メンバー全員が世界的に活躍する超一流の音楽家たちで結成された、管楽器のドリムチーム「レ・ヴァン・フランセ」が千葉県文化会館に初登場します。フランスのエスプリ薫る至高のアンサンブルが、最高の音楽をお届けします。

- 演目 クルークハルト：木管五重奏曲 ベートーヴェン：ピアノと管楽のための五重奏曲op.16 プーランク：六重奏曲 ほか
- 出演 レ・ヴァン・フランセ  
エマニュエル・バユ(フルート)、フランソワ・ルルー(オーボエ)、ポール・メイエ(クラリネット)、ラドヴァン・ヴラトコヴィチ(ホルン)、ジルベール・オダン(バスーン)、エリック・ル・サーージュ(ピアノ)

- 料金  
S席：¥5,000 (U-30 ¥2,500)  
A席：¥4,000 (U-30 ¥2,000)  
小中高生¥500 (全席指定)



©wildundleise, de Georg Thum 2014

## 千葉県東総文化会館

## ルーエプロジェクト

## 朗読劇「渋沢栄一翁ゆかりの青い目の人形物語」

令和5年2月19日(日) 14:00開演

「日本資本主義の父」ともいわれる偉人『渋沢栄一』の偉業の一つとしてあげられる「青い目の人形」。これは日米の友好を願った『友情人形』とも言われる小さな友情の使者でした。旭市の「イロエズ」と山武市の「アリス・ブレイブル」。数奇な運命をたどった人形たちの物語を朗読劇としてお楽しみいただけます。千葉県東部地域にゆかりの作家・音楽家が集まり結成した「東総の文化を紡ぐ会」(愛称：ルーエ)メンバーの力を掛け合わせ、新たな芸術の世界を創ります。



- 朗読 すわ親治、山崎イサオ、桂竹千代、高島悦子、斉藤ザ☆モンゴルマン俊一、あさひ少年少女合唱団、Team Swit@h、楽天堂
- 脚本 佐野誠 ■美術 土屋金司、赤座剛、すずきらな ■音楽 依知川伸一(Bass)、稲垣雅紀(Piano)、石川武(Percussion)
- 料金 一般¥3,000 U-30(30歳以下)¥1,500 高校生以下¥500 (全席自由) 3歳以下ひざ上無料(お席が必要な場合は有料)

『ようこそホールへ!』

ホールに足を運んで、新しい発見や感動と出会ってみませんか。注目公演をご紹介します



千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん

千葉県誕生150周年を  
文化芸術イベントで盛り上げます!

今年は、千葉県が明治6年に誕生してから150年の節目の年です。

私たち千葉県文化振興財団は、150周年を千葉県とともに盛り上げるため、「ちば150周年記念事業パートナー」になりました。これまでの千葉県の歴史を振り返り、100年後の未来に思いを馳せる機会となるような、様々なコンサートやイベントを行いますので、どうぞご期待ください!

# ちば ゆかり人

千葉県にゆかりのあるアーティストや職人を紹介します

Mille feuilles vol.3 発行日:2023年11月20日

発行:公益財団法人千葉県文化振興財団

〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 TEL:043-222-0077(代)



## 阿久井 真

漫画家の登竜門「小学館新人コミック大賞」の第66回少年部門で佳作に輝き、2012年に『ゼクレアトル』(原作:戸塚たくす)で連載デビュー。2015年から2016年まで映画『心が叫びたがってるんだ。』のコミカライズ版を連載し、2017年から千葉県立幕張総合高等学校オーケストラ部をモデルにした『青のオーケストラ』を連載中。

## 幕総オケ部をモデルにした漫画が人気連載中

音楽に情熱を注ぐ高校オーケストラ部の部員たちの青春模様を描き、2023年4月からNHK Eテレでのアニメ放送も決まっている人気漫画『青のオーケストラ』。作者の阿久井真さんは、連載のために県内屈指の強豪・

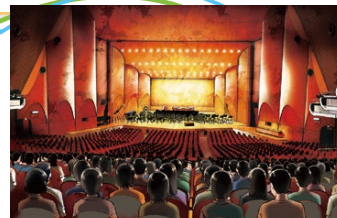
千葉県立幕張総合高等学校シンフォニックオーケストラ部取材するうちに「吹奏楽や管弦楽で盛り上がっている県なんだ」と改めて実感し、音楽を楽しむ学生たちのエネルギー感にも胸を打たれたそうです。ちなみに漫画では、幕張総合高校の校舎や周辺地区を思わせる描写も見られます。

また、取材を通じて千葉県文化会館に何度も足を運んだ際に、演奏会やコンクールを終えて会場から

出てくる学生たちの「顔」が印象に残ったという阿久井さん。「頑張っている人たちが、何か一つのことをやり遂げた瞬間が垣間見えるあの時間が、とても記憶に残っています」。これからも音楽に打ち込む学生たちの情熱に寄り添い、熱いストーリーを紡いでくれることに期待しましょう!



◀『青のオーケストラ(1)』(小学館)。「マンガワン」にて連載中。3月に千葉県文化会館で開催する「千葉県文化会館開館55周年記念 ちば文化芸術シンポジウム&ミュージカル・コンサート」では、ホワイエにて原画を展示予定。



▲『青のオーケストラ(6)』の表紙背景は千葉県文化会館大ホール

## 募集! 読者アンケート

公演チケットが当たる!

## アンケート内容

『Mille feuilles(ミルフィーユ)』をお読みいただき、ありがとうございます。アンケートにご回答いただいた方の中から、7ページで紹介している『レ・ヴァン・フランセ コンサート』の公演ペアチケット(1組2名)をプレゼントいたします。ぜひご感想をお寄せください。

**応募方法:** 「はがき」もしくは「WEB」にて、アンケート項目と必要事項(お名前、ご年齢、郵便番号、ご住所)をご記入のうえご応募ください。

**送り先:** 〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号  
千葉県文化振興財団『ミルフィーユ』アンケート係

**締切:** 令和5年2月15日(水)必着

**当選発表:** 厳正なる抽選の上、当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

WEBからの応募はこちら



- 『Mille feuilles(ミルフィーユ)』はいかがでしたか? ご意見、ご感想を教えてください。
- 興味深かった記事を教えてください。(できれば理由も)
- 今後取り上げてほしい話題、人などあれば教えてください。
- どこで『Mille feuilles(ミルフィーユ)』を手にとられましたか?

※当選に関するお問合せには回答いたしかねます。※応募は日本国内在住の方に限ります。※チケットの転売、オークション出品はご遠慮ください。※ご記入いただいた個人情報は厳格に管理し、あらかじめご本人の許可なく、個人が特定できる情報を外部に提供することはありません。※お寄せいただいたご意見やご感想は、当ホームページや広報誌等に転載させていただく場合がございます(いただいた内容を転載する際は事前にお知らせすることなく、必要な範囲で編集場合があります)。

## 表紙のイラスト

黒板アート作家、画家のすずきらなさん(旭市出身)に、新春をテーマに描いていただきました。千葉県文化会館開館55周年、青葉の森公園芸術文化ホール開館30周年、千葉県南総文化ホール開館25周年を記念した、各館のウェルカム・アート(玄関装飾)もすずきさんの作品。シーズンごとに変わるアートで皆様をお迎えします。

## ホールへのアクセス

### 千葉県文化会館

- JR内房線・外房線「本千葉駅」より徒歩約10分  
千葉都市モレール1号線「線庁前駅」より徒歩約7分  
京成線「京成千葉中央駅」より徒歩約20分
- JR千葉駅中央改札(東口)より千葉大学病院、南矢作行き「郷土博物館・千葉県文化会館前」下車 徒歩約2分

〒260-8661  
千葉市中央区市場町11番2号  
TEL:043-222-0201(代)



### 千葉県東総文化会館

- JR総武本線「旭駅」よりタクシーで約5分/徒歩約15分
- 千葉東金道路、圏央道経由、銚子連絡道路・横芝光ICから国道126号銚子方面へ約30分  
東関東自動車道・大栄ICから約40分

〒289-2521  
旭市ハの666番地  
TEL:0479-64-2001



### 千葉県南総文化ホール

- JR館山駅東口より徒歩約20分
- JR千葉駅より高速バス(南総里見号)「南総文化ホール」下車 徒歩約3分  
JR館山駅より亀田病院行き、安房白浜行き「南総文化ホール」下車 徒歩約3分
- 館山自動車道・富浦ICから約15分

〒294-0045  
館山市北条740番地1  
TEL:0470-22-1811



### 青葉の森公園芸術文化ホール

- 京成千原線「千葉寺駅」より徒歩約15分
- JR千葉駅中央改札東口より星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分  
JR蘇我駅東口より大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分
- 京葉道路・松ヶ丘IC/千葉東金有料道路・千葉東ICより約10分

〒260-0852  
千葉市中央区青葉町977番地1号  
TEL:043-266-3511



## TICKET

チケットのお申込み・お問合せ

### 1 インターネット予約

※要会員登録  
※一部対象外公演あり  
※深夜3:00~4:00はメンテナンス休止中



### 2 電話予約 (9:00~17:00)

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001  
千葉県南総文化ホール 0470-22-1811 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

上記の方法にてご予約の上、各ホールの受付カウンター(手数料なし)かクレジットカード(手数料あり520円)、コンビニ(手数料あり520円)にてお支払いください。チケットのお渡しは、カウンターでのお支払いの場合は代金と引き換え、クレジットカードもしくはコンビニ決済の場合は郵送となります。

※本誌掲載の料金は全て税込価格です。